

新たな方式の導入と同報無線システムの機能概略について（案）

1 通信機能

項番	機能	機能種別	内 容	技術的な観点から見た実現性			
				アナログ (現行)	16QAM (現行)	QPSK (方式1)	4値FSK (方式2)※1
1	音声通信	一括通信	親局からすべての子局を対象とした片方向の同報通信。	○	○	○	○
2		個別通信	親局と特定の屋外子局（1局）間の選択呼出による片方向通信。	○	○	○	○
3		グループ通信	親局から複数の子局（グループ）を対象とした選択呼出による片方向通信。	○	○	○	○
4		連絡通話 (上り)	屋外子局（アンサーバック付き）から親局への片方向通信。	○ (単信)	○ (複信対応)	○ (単信)	○ (単信)
5	非音声通信	データ通信	文字、画像、観測情報（水位・潮位・気温等の数値）、制御情報等の非音声通信。	○ (低速：MSK)	○ (高速)	○ (中速)	○ (低速)
6		FAX通信	親局と子局の間でFAXを伝送する非音声通信。	○	○	○	×
7		アンサーバック (上り)	屋外子局（アンサーバック付き）から親局への片方向通信。屋外子局の動作確認信号やテレメータ信号等を伝送。	○ (単信)	○ (複信対応)	○ (単信)	○ (単信)
8	その他	音声+付随データ	音声と同時にデータを伝送。	×	○ (高速)	○ (中速)	○ (低速)

2 統制機能ほか

項番	機能	機能種別	内 容	技術的な観点から見た実現性			
				アナログ (現行)	16QAM (現行)	QPSK (方式1)	4値FSK (方式2)※1
1	統制/緊急	一括/緊急一括放送	親局からすべての子局に対して最大音量で放送する機能。	○	○	○	○
2		J-ALERT連動	J-ALERT受信装置と連動して自動放送を行う機能。	○	○	○	○
3		通信統制	親局と子局間の通信を必要に応じて発着信規制、通信時間制限等により、統括・規制する。	○	○	○	○
4		緊急連絡通話	屋外子局（アンサーバック付き）から親局に緊急の連絡を行いたい旨を通知する（親局が一斉通報中の場合でも通知・連絡が可能）。	×	○	×	×
5	セキュリティ	秘話性/不正防止	通信内容の秘匿化（秘話、暗号化）や不正使用を防止する機能。	対策に制約あり	○	○	○

注 ※1）4値FSKでは、受信機にサイレンやミュージックチャイム等の音源を内蔵（蓄積）し、親局側の操作で再生する。

【凡例】“○”：可能、“×”：不可